

	東京芸術大学 特定分野
学部等の教育研究 組織の名称	美術学部（第1年次：240名） 音楽学部（第1年次：237名） 美術研究科（M：199名 D：35名） 音楽研究科（M：119名 D：25名） 映像研究科（M：64名 D：3名）
沿 革	明治20（1887）年 東京美術・音楽学校設置 昭和24（1949）年 東京芸術大学 美術学部、音楽学部 設置 昭和38（1963）年 美術研究科 音楽研究科 設置 平成17（2005）年 映像研究科 設置
設置目的等	<p>昭和24（1949）年に、美術についての学識を授け高い表現能力を養い、創作や研究活動を行う優れた作家・研究者を養成することを目的として美術学部が、音楽の各分野における創造、表現、研究に必要な優れた能力を養い、社会的要請に応える人材を育成することを目的として音楽学部が、それぞれ設置された。</p> <p>昭和38（1963）年に、両学部の大学院レベルでの教育研究を行うために美術研究科（修士課程）、音楽研究科（修士課程）が設置された。</p> <p>昭和52（1977）年に、芸術に関する高度な創造、表現の研究と豊かな芸術文化に関する幅広い識見を有する研究者の養成を図ることを目的として、美術研究科（博士課程）および音楽研究科（博士課程）が設置された。</p> <p>平成17（2005）年に、映像に関する学術的な理論及び応用を教授研究し、表現者としての問題発見能力と専門家としての問題解決能力という二つの能力を兼ね備えた表現者と教育研究者を養成することを目的として、映像研究科を設置した。</p>
強みや特色、 社会的な役割	<p>【総論】</p> <p>東京芸術大学における芸術分野においては、真理の探究を図るとともに我が国における芸術分野の普遍的役割を果たすべく、教育研究を実施してきた。</p> <p>引き続き、上記の役割を果たしながら、教育及び研究において明らかにされる強み・特色・役割等により、学内における中長期的な教育研究組織の在り方を速やかに検討の上、実行に移す。</p>

【教育】

(学部)

- 芸術の学問分野の教育研究を通じて、美術分野では長い伝統のなかで培われた創造性を身に付け、新たな時代に対応し、優れた独創性を発揮する人材を養成する。音楽分野では音楽についての深い学識と高い技術を授け、音楽の各分野における創造、表現、研究に必要な優れた能力を有する人材を養成する。
- このため、美術分野では少人数教育の徹底のほか、大学美術館を活用した展示活動や海外の美術系大学とのサマースクールの開催などの取組を行っている。音楽分野では、マンツーマンや少人数教育の徹底のほか、国内外の著名な演奏家・研究者による公開講座やシンポジウム等の開催、外国人招聘教員によるレッスンなどの取組を行っている。
- これらの取組の結果、美術分野では「上野タウンアート・ミュージアム」等の地域連携・社会貢献プロジェクトにおいて創作物が国土交通大臣賞やサントリー地域文化賞、日本ジュエリーアート展などで受賞している。音楽分野では地域連携、社会貢献事業において多数の演奏依頼を引き受けているほか、日本音楽コンクール、浜松国際ピアノコンクールやマリア・カナルス国際音楽コンクールなどで受賞している。
- 今後は、美術分野では海外の大学との協定関係のさらなる発展や、通常カリキュラム外の実践教育における活動成果を単位化する制度を整えることなどを通じて、学生が美術関連の企画における実践的リーダーシップを育成する取組を行う。音楽分野では、IPAARS（国際演奏芸術高度研究棟）や外国人招聘教員等を活用しつつ国際的に活躍する演奏家を育成する取組を行う。また、両分野ともに、国際化に対応するためのセメスター制の導入や、大学が持つ芸術資産を活用した芸術アーカイブシステムと図書館機能が融合する施設を活用した分野横断型の教育を推進することを通じて、卒業時に必要とされる資質や能力を可視化しつつ体系的な教育課程を編成するとともに、学生の能動的学習を促す教育の実施や組織的な教育体制等により、学士課程教育の質的転換に取り組む。

(大学院)

- 美術分野では、国際的・学際的な視野を身に付け、高度な専門的創作活動・研究活動を実行し得る能力を有する高度専門職業人を養成する。音楽分野では、国際的・学際的な視野を身に付け、音楽に関わる各研究分野における創造、表現、研究等に必要な優れた能力だけでなく創作、研究活動を行うために必要な能力を有する高度専門職業人を養成する。映像分野では、映像文化の発展に寄与する次世代の映像創作者、研究者を養成する。
- このため、美術分野では、海外の芸術系大学への学生派遣や国際交流プロジェクトを展開するほか、博士学位審査の公開性を担保するための

審査展を開催している。音楽分野では、個別指導等によるきめ細かい指導のほか、奏楽堂（演奏ホール）を活用した一般公開演奏機会の充実を図っている。映像分野では、実制作重視のカリキュラムや創作の現場をいかした研究者教育の実施、海外の提携大学との共同制作を通じて国際的な視野の涵養を行っている。

- これらの取組を通じて、美術分野では、グッドデザイン賞や日本美術院展など国内外の展覧会で受賞している。音楽分野では、国内外の各種コンクールでの受賞のほか、海外の芸術系大学との共演等による海外公演や CD 等の制作を通してその成果を世界に向けて発信している。映像分野では制作作品がベネチア映画祭やメルボルン映画祭、オタワ国際アニメーション映画祭などで受賞しているほか、ザグレブ国際アニメーション映画祭で最優秀学校賞を受賞している。
- 今後は、美術分野では、専門教育プログラムを見直し、専攻科専門の縦割りの体制から複合的な教育組織体制の整備の推進や、21 世紀の新しいジャパンオリジナルの芸術を追究する創造プログラムを開発するとともに若手アーティスト・研究者の活動支援策の一層の充実をはかる。音楽分野では、国際化に対応するためのセメスター制の導入や、新国立劇場との提携推進などを通じたオペラ分野教育の強化などを行う。映像分野では、既存の分野の垣根を越えた表現方法の開拓を行うための専攻間や人材の交流や連携を推進する。また、社会人、留学生を含め、時代の動向や社会構造の変化に的確にこたえ、課程制大学院制度の趣旨に沿った教育課程と指導体制を充実・強化する。また、海外の大学との連携を通じ、芸術分野の教育の国際通用性を確保する。

【研究】

- 我が国の芸術分野における研究実績をいかし、美術分野では、これまでの日本美術の伝統を継承していくとともに、新しい芸術の先導役となる研究、芸術による地域振興や感性をいかしたものづくりを推進することを通じて、我が国の美術分野の発展と芸術文化の振興に資するという研究目標に取り組んでいる。音楽分野では、学生がプロフェッショナルな能力を有するのみでなく、海外の音楽教育研究機関との連携、海外の著名アーティストの招聘による演奏会の実施などのほか、奏楽堂を活用した研究実践を行うことを通じて、伝統文化の継承と新しい芸術表現の創造の推進という研究目標に取り組んでいる。映像分野では、映像メディア学の研究の推進、専門分野間における学際的かつ国際的な共同研究、映像を通じた社会的課題へのアプローチといった、映像を作ることに関わる諸相を組織的に研究し、その成果を発信することで、映像メディア学の確立に取り組んでいる。
- これらの取組の結果、美術分野では、地域社会・地域住民との共同研究や、創作・研究活動、ワークショップの開催などを通じた、新たな文

化作りの一端を担っているほか、文化財保護の領域では、伝統的な技法と最新の科学技術の両者を取り入れた文化財保存に関する提言を行うなど、実践的な研究の積み重ねによる成果が強みとして挙げられる。音楽分野では CD、DVD の制作といった各学科・専攻の専門性・独自性にかかる取組だけでなく、各学科・専攻の枠を超えた融合的な作品の作成への取組や、他研究科とのコラボレーションによる作品制作も行っている。映像分野では東京大学大学院情報学環や東京国立近代美術館フィルムセンターとの連携による「記録映画アーカイブ・プロジェクト」の取組のほか、制作した作品が国内外で数々の受賞を受けている。

- 今後、美術分野では、地域連携研究の推進のため、全国の3地域に、地域における社会芸術の実践的な活動の拠点形成のための施設を設立するほか、国際交流協定締結校との国際共同プログラムの実施の展開、このためのレジデンス機能の整備を行う。音楽分野では、国際交流協定締結校との国際交流演奏会等をとおして積極的に研究成果を発信する。映像分野では、映像資料のデジタルアーカイブの構築に向けた研究の推進、異分野間も交えた産学共同研究の強化、国際共同研究を行うためのレジデンス機能の整備などを行う。

【その他】

- 各分野とも、全国各地において地域との連携・地域貢献事業を実施している。美術分野では、地方公共団体や企業等からの受託研究・受託事業の受け入れ、生涯学習やリカレント教育の観点から社会のニーズに対応したプログラムを複数実施している。音楽分野では、全国各地で実施される音楽会への協力、邦楽や管楽器の実技指導、一般向けの音楽実技の公開講座を実施している。映像分野では、東日本大震災復興アーカイブ支援プロジェクト、横浜市文化観光局との文化芸術創造都市づくりの共催事業を実施している。
- 全学的な機能強化を図る観点から、18歳人口の動態や社会ニーズを踏まえつつ、学部・大学院の教育課程及び組織のあり方、規模等の見直しに取り組む。
- 美術分野及び音楽分野の定員未充足の改善のため、魅力あるカリキュラムの再構築、定員規模の見直し等に取り組む。